

# からたち通信

NO・24号  
2014年1月

発行

千葉市花見川区  
幕張町5-225  
千葉勤労者福祉会  
友の会からたち班

Tel.043-213-9500

利用者、ご家族、友の会、職員の皆様、2014年、新年のご挨拶を申し上げます。

## 福祉会10年の成果

と、さらなる前身を

あけまして  
おめでとうございます

福祉会理事長

八田 英之

2013年は、私ども千葉勤労者福祉会の10周年でありました。

10年の間に、福祉会は着実に活動の幅を広げ介護のレベルを向上させてきました。その到達点の一端は、



## 第一回千葉民医連

### 介護活動研究交流集会

十一月十日(日)に

海浜幕張駅前プレナ幕張館会議室において、初の介護職員介護活動交流集会が開催されました。

16演題の内容は、各事業所の職員が日頃、入所者や利用者に何が出来たのかを真剣に考え、更

なるケアの充実を追求する姿がありました。

特に医療と介護が密接に関わる現場での専門性が強調されていました。

参加者は、民医連の介護職員だけでなく、他職種や専門学校の先生も参加。

「横のつながり」を大切に今後継続していきます。(介護職部会・加瀬博之)



第1回介護活動研究集会参加者・85名

昨年11月に開かれた第一回千葉民医連介護活動研究集会に発表されています。

## 利用者の生きる権利

### 守る理念の実践が

ダイサービスからたちの利用者一人ひとりの「その人らしさを職員の共通認識にし、自己決定を尊重した活動」、グループホームひまわりの「保育園をはじめとした地域との交流を通じて、地域に開かれた施設をめざす取り組み」、障がい者施設まあぶるひろの、「一人ひとりに仕事を合

わせていく取り組み」、ヘルパーステーション

なのはな二和の「難病者の在宅ターミナルの取りくみ」、同幕張の「要支援の利用者に寄り添いとしこもりから外に出られるようになった経験」など、これらの発表を聞いて、私は深い感動を覚えしました。

## 民医連介護が根付く

民医連の「患者・利用者の生きる権利を守る」という理念がまさに実践に示されています。

新しい制度として始まった介護の分野は、民医連にとっても模索の分野でした。

## 念願の特別養護

### 老人ホームづくりも

経営的にも安定した経営を続けることが出来ています。

また、念願の特別養護老人ホームの建設は、船橋市に県から土地が譲渡され、今その土地に特養ホームを含めた利用計画を、早く作るように、住民の皆さんとともに市に働きかけているところで、(裏面につづく)



挨拶する 八田 理事長

## 班会「いきいき体操」

だれでも参加できます。座ったままでもできます。

日時・2014年2月26日(水)

午後2時30分

午後3時30分

場所・「からたち」2階

講師・小野トレーナー

(二和ふれあいクリニック)

## 第3回・介護交流会

### 家族と職員が生で交流



今回は、第1、地域の方と職員が日々の介護等における喜びや課題、悩みなどを共有する。第2、住み慣れた地域で安心して暮らせる環境作りの一端を担う。第3、前向きで、明るい介護の実践を目指す。という目的のもとで行われ。参加者はからたちをご利用のご家族、ボランティア、からたち班世話人会、職員等でした。

#### きりのない介護などの悩み

家族の声では、「切のない介護」、「ふとした時に『こう



門脇「ひまわりGH」施設長があいさつ

すればよかった」と思うことがある。「介護していると生活スタイルがガラリと変わり、家族と家庭内別居状態」、「一人で背負わない、介護者自身を大切にする」等の声がある。

#### 工夫している介護

「体力、食事量の低下に伴い、スロープ設置、ミキサー食等、家族で工夫している」、「整形外科へは付き添って通っているが、これは歩行のリハビリと思っている。通うことで、顔みしりも増えて心強い。」など。

#### からたちへの要望など

「認知症型デイは少人数で、本人に会わせてもらい助かっている」、「ケアマネは介護者を否定しないで、話をきいてくれ

る」、「からたち」の雰囲気が良い。行くときに元気がなくても、元気になって帰ってくる」、「急な用事が入ったり、介護者の体調不良時など、延長や宿泊があればうれしい」、「認知症だと、送迎の職員がコロナ変わると出かけるのが困難」、「ヘルパーさんとは相性が合う慣れるまでには時間がかかるが、相性の会う方にはとても助けられる」など。

(1面・つづき)

#### 反動の政治に攻めて

##### より良い世の中を

##### 求める強い流れが

一方、政権に復帰した自民党安倍内閣は、危険で不安定な経済政策で景気回復を演出しつつ、消費税増税、社会保障改悪、国家機密法を強行しています。時の流れの表層は反動の逆風が渦巻いているように見えます

しかし、時代の底流には、よりよい世の中を求める力強い流れがあります。

国家機密法には国民の7割が反対しました。昨年の参議院選挙では、新聞の予想を覆して日本共産党が躍進しました。景気回復の動きも明らかに鈍化しています。今年4月に消費税が引き上げられたら、一体どうなるでしょうか。

#### 介護保険改悪に反対

##### 福祉社会もがんばります

社会保障改革プログラム法の通りに事が進められたら、要支援者の在宅サービスの切り捨て、利用者負担の増加、特別養護老人ホームへの入所制限などなどまさに高齢者の生きる権利が脅かされる事態になります。

多くの人々に訴え、介護保険

社会保障制度改悪に反対し、消費税増税をストップするたたかいを進めねばなりません。福祉社会は、こうした運動の面でも力をつけてきました。

2014年が日本をよりよい国としていく前進の年となるように、ご一緒にがんばりましょう。

皆様のご健勝をこころから祈念いたします。(おわり)

#### 職員の感想

積極的にお話し合いをしています。家族同士の経験、工夫、辛い話に、お互い励ましあったり。介護負担と大変さは計り知れません。

私たちは介護者の生の声に感謝し、地域で必要とされる法人でありたいと感じました。

(記・門脇及び松木)

